

令和８年度第１回唐津市男女共同参画推進協議会 会議概要

1 開催日時

令和８年７月２４日（金） 14:00～15:45

2 開催場所

唐津市役所 大手口別館５階 会議室

3 出席者

上野委員、田代委員、岩本委員、加茂委員、川崎委員、小出委員、
田坂委員、古川委員、吉村委員〔９名〕

4 欠席者

浦田委員、大園委員、小峰委員、角委員、副島委員、藤田委員〔６名〕

5 事務局

男女共同参画室 石橋室長、井上係長、小宮

6 傍聴者

０人

7 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事

① 唐津市男女共同参画基本計画（第５次）令和７年度の実施状況について

② 令和７年度唐津市審議会等委員に占める女性の割合について

③ その他（令和８年度女性活躍推進事業等について）

(4) その他

(5) 閉会

【会議概要】

1 意見等の概要

議題 1	唐津市男女共同参画基本計画（第 5 次）令和 7 年度実施状況について
会長	議題①について事務局に説明を求める。
事務局	会議資料に沿って説明
会長	①の説明内容について、気づき、質問及び意見を求める。
委員	今、女性の起業者が増えており、男女半々くらいになっている。女性は理美容系や自宅でパソコンを使った作業などが多い印象。小さく始めることもでき、起業の幅が広がっている。20 代後半や 30 代の若い方の起業も増えている。
委員	10 年ほど前から徐々に女性管理職が増えている。女性だからと特別扱いはしないが、全く同じというわけではない。女性管理職同士の交流があると、ぶつかっている問題の解決策のヒントが得られるかもしれない。
委員	少しずつ女性の管理職、経営者層も増えている印象。事業を拡大したい・収益を確保したいという方は、性別に関わらず相応の情報・覚悟を持って経営されている。
委員	一般事業主行動計画が必要な事業所が、4 月 1 日の法改正で拡大され、公表義務がある事業所が増えているので、その事業所と適切に行われているかの把握をすると、基本目標 2-1 の「職場における男女共同参画と女性活躍の推進」の取り組みが進むのではないかと。
会長	この点は、担当課と一緒に確認をしておく必要がある。
委員	「学校への補助教材や講座情報の提供が不十分」との点について、お出かけ講座志援隊を PTA に周知してはどうか。 また、パートナーシップ宣誓が 1 組なされたとあるが、宣誓することによるメリットの周知ができれば、もっと増えるのでは。
事務局	制度が停滞しないよう、所管課の方にも工夫を促したい。
会長	特定検診実施率の低下が気になる。
委員	以前から、県内でも唐津市の受診率が断トツに低い。担当課は一生懸命広報しているが、特に旧唐津が少なく担当課もアイデアがあれば教えてほしいと思う。
事務局	今回示しているのは 5 月末速報値なので、最終ではもう少し数値が伸びると思う。5 月末現在で女性の実施率が男性より 3.3 ポイント高い。
会長	20～25 年前頃に検診率が男女共同参画の指標になった経緯は、旅館のおかみさんや仲居さんが、仕事や家庭が忙しく、検診（健康問題）が後回しになっていたことからで、女性が非常に厳しい立場に置かれていることの代表的な指標だった。今働き方が随分変わってきており、女性の健康を別の指標で担保することも考えないといけないのかもしれない。 また、健康への関心は以前より高いと思うので、検査と運動講座など抱き合わせで事業をやってみてはどうか。
委員	防災（消防団）の話だが、男性が町外へ出たり、仕事に行ったりで減って、人数が揃わないため消防車が出せない。

事務局	消防団に入っている、サラリーマンが増えると実際の活動時に集まるのが厳しい。少人数でも活動できるような資機材の見直しは行っている。 女性消防団は、もともとは島の男性が漁に出ている間に島で火事が起きたら、残った女性で守らないといけないということであったが、高齢化が進み、動ける人が少なくなってくると、いろんな分野で性別に関係なく担い手不足が課題となってきた。 男性しかできないと思っていた仕事でも、マニュアルを工夫するなどすれば女性でもできるようになった企業の事例もお聞きしたことがある。そういった考え方や支援も必要かもしれない。
副会長	人口減少が目に見え、消防団も減っている中で、もしも昼間に何か起こったときの初期行動（火災や高齢者避難への対応等）をその時、地元にいる人でしなければならない時代。地域や職場など性別に関わらずみんなが同じように命を守ることを考えていく時代になった。男女共同参画からもそのような提案が大事。 最近話した若い女性が農業をしたいと言っていて、未来が明るいと思った。安全な食べ物を入り口にする人もいる。そういう方たちの応援など今までと違うアプローチで変化をつけて男女共同参画をやっていくことが大切になってきたのではないかなと思う。
会長	科学技術の進歩もあり 2040 年に男女共同参画がどんな形になっているか分からないが、これまでの状況が大きく変化しかかっている時代なので、これまでの指標なども少し立ち止まって議論していくことが必要かなと思う。
議題 2	令和 7 年度唐津市審議会等委員に占める女性の割合について
会長	議題②について事務局に説明を求める。
事務局	会議資料に沿って説明
会長	②の説明内容について、気づき、質問及び意見を求める。
副会長	登用率が上がったのは良いこと。男女両方の意見があった方がより良い考えが出るのではないかなということを理解してもらうことが一番大事。これに甘んじることなく継続して頑張ってもらいたい。
議題 3	その他（令和 8 年度女性活躍推進事業について）
会長	議題③について事務局に説明を求める。
事務局	会議資料に沿って説明
会長	③の説明内容について、気づき、質問及び意見を求める。
会長	令和 9 年度事業（案）はこれまでと代わり映えしないのでは。
委員	一般事業主行動計画の策定とも関係あるが、えるぼし認定・くるみん認定の公共調達加点などを前面に出して、会社へ勧めるきっかけとしては。
事務局	業者の登録制度もいろいろあるため、業者の負担にならない中で何かできないか、庁内で検討しているところ。
会長	若年層の流出をくい止めようという手立てを講じる事業内容になっているのか。KPI や事業内容がちぐはぐな印象。
事務局	男女の方ではどうしても啓発事業になる。大学がないため高校卒業後に転出した若者が戻ってこない。企画の方で郷土愛を醸成し、継続的につながる事業なども考えている。

会長	9 年度事業はもう少し工夫があった方がよいと感じる。当事者に話を聞くしかない。
その他	その他
副会長	時代が変わっていることをひしひしと感じる。広く情報収集して対応していくことが大事。平等の意識、支え合い、思いやりなど一番大事なところを忘れないように進んでいくと良い世の中になると思う。
	議事については終了。会の進行を事務局に戻す。
事務局	いただいたご意見は後日ホームページで公表させていただくとともに、部長会議に報告し、職員の意識改革等計画実行に取り組みたい。 委員の皆様には 2 年間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。